

学校関係者評価報告書

愛媛県立松山商業高等学校  
学校番号(25)

評価実施日	令和2年2月26日(水) 15:30~16:30		
委員	氏名	所属等	備考
	金井マキ	旭町自治会役員	学校評議員 兼 学校関係者評価委員
	楠本雅人	松山市教育支援センター教育指導員	学校評議員 兼 学校関係者評価委員
	藤島寛昌	ロープウェー商店街「ギャラリー絵夢」社長	学校評議員 兼 学校関係者評価委員
	好岡昭子	主婦	学校評議員 兼 学校関係者評価委員
	藤岡大輔	ホルモン村二番町店代表	学校評議員 兼 学校関係者評価委員
	田村有希	全日制PTA会長	学校関係者評価委員
	西田美由紀	全日制PTA副会長	学校関係者評価委員

全日制

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習成績や資格取得数等において、大変な素晴らしい結果を出している。地域ビジネス科の生徒だけでなく、学校全体で地域に貢献した活動を行っている。松商の良き伝統を引き継いでいる。今後も商業高校の特色のある魅力ある指導でお願いしたい。</li> <li>・先生方は生徒に対して熱心に指導してくれている。昨年度よりも指導力が向上している。今後も電子黒板等のICT機器を有効活用する中で、生徒に考えさせる機会を増やし、主体的に活動できる環境を作ってほしい。</li> </ul> <p>(2) 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職内定率100%や地元企業への就職率97%など、生徒の進路希望を実現できていることは、素晴らしい。</li> <li>・地域ビジネス科の生徒は、体験学習が多く、推薦入試に対応しているが、商業科の生徒は体験学習が少なく、推薦入試への対応が十分でない。体験学習を増やすなど工夫してほしい。</li> </ul> <p>(3) 生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明るく、元気な挨拶や清掃活動も積極的に取り組んでおり、先生の適切な指導がうかがえる。</li> <li>・年々よくなっているが、トイレのスリッパや駐輪場の自転車の整理整頓を根気強く指導してほしい。先生が率先して行うことが大切である。</li> </ul> <p>(4) 特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動とのバランスを考えながら学力向上に努めてもらいたい。</li> <li>・学校行事は、生徒と先生がよく盛り上げており、素晴らしい。</li> <li>・地域貢献度は非常に高いが、今後も行政と地域とが一丸となって取り組んでほしい。</li> </ul> <p>2 学校運営への提言</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の高校で生徒募集に苦勞している学校が、松商も危機感を持ち取り組んでいただきたい。</li> <li>・学校評価アンケートの項目について再確認し、実態に即した内容になっているか検討していただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全商検定3種目以上1級合格者は昨年度より増加しているが、さらに資格取得に対する生徒の意欲を喚起するとともに、補習授業等の充実を図る。</li> <li>・Wi-Fi環境のもとで、アクティブラーニングや電子黒板等のICT機器の効果的な活用方法について、さらに研修に努め、授業に取り入れる。</li> <li>・キャリア教育の充実や学力の向上に努め、生徒個々の希望する進路の実現を図る。</li> <li>・販売実習等、体験学習が進路実現に生かせるよう指導内容を充実させる。</li> <li>・年度初めに明るく元気な挨拶をすることを目標に学校全体で取り組んできた。</li> <li>・教員が模範を示し、指導者としての自覚を持って指導に当たりたい。</li> <li>・生徒一人一人が、学校行事に主体的に取り組めるよう、さらに創意工夫を図る。</li> <li>・ボランティア活動の意味を理解させ、自ら積極的に取り組める生徒を増やす。</li> <li>・本校の魅力ある取組をあらゆる機会を通して発信していきたい。学校HPの活用もさらに工夫したい。</li> </ul>

定時制

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な生徒に対応するため、生徒一人一人とコミュニケーションを図りながら、きめ細かな授業や生徒指導の実践が行われている。</li> <li>・1か年皆勤者・精勤者の割合が、数値目標に達成できていない。</li> <li>・「保護者の学校行事への参加率が数値目標を大きく上回っている。保護者、生徒、教員との交流」について、さらに工夫をしていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ささいなことで体調を崩し、欠席する生徒がいた。学期間皆勤賞の獲得に向けて、休まず登校することの意義を伝え、皆勤者・精勤者の増加に努めたい。</li> <li>・学校HP等を活用し、学校行事や生徒の活動状況について紹介していきたい。</li> </ul>